

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

1. 地域福祉の推進体制

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策	
1-1-2 ⑥	福祉教育の推進 町職員をはじめ、学校や企業、地域の関係者等、障がい者にかかわりのある機関・団体等の関係者を対象とした研修会を実施する。	総務課 (庶務行政室長) 福祉課 (福祉支援室長) 健康介護課 (介護保険室長) 教育推進課 (学校教育室長)	充実 ・町職員や教職員等に対する研修会を実施	24年度	検討	①障がい者に対する理解を深めるために、職員を定期的に研修会へ派遣。 ②障がい者や障がいの理解促進を図るため、新採用職員に対し、研修を実施。 ③障がい者や障がいの理解促進のため福祉の店を実施。 ④特別支援教育に関する研修会の実施 ⑤特別支援学級担任・特別支援教育コーディネータ対象の研修会に実施（年3回）	①A ②A ③A ④A ⑤A	【進捗状況】 ①障がい者をはじめとするさまざまな人権問題に対する理解を深めるための研修会「埼葛人権を考えるつどい」を埼葛市町共同で実施（10月16日）。町職員の他に、教職員、民生委員等が参加。 ②障がい者に関する理解を深めるため、障がい者福祉研修、ガイドヘルプ研修を新採用職員研修（後期）に実施（10月2日）。 ③月曜日～金曜日に5団体の共同運営として実施。 ④日本工業大学において、宮代特別支援学校との共催で特別支援教育夏季研修会を実施済み(8月22日)。 ⑤特別支援教育主任・コーディネータ連絡協議会において研修(ユニバーサルデザイン、難聴・言語研修)を実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③④⑤継続して実施していく。
				25年度	実施			
				26年度	↓			
				27年度	↓			
				28年度	↓			
1-1-4 ③	権利擁護の推進 知的障がいや精神障がい等判断能力が十分ではない人に対する権利擁護にかかる相談、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービス等を行う権利擁護事業（あんしんサポートネット事業）の利用を促進する。 また、権利擁護に関する町職員への意識啓発を充実し、これらに配慮した事業の推進を図る。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・相談、各制度等の利用促進	24年度	実施	①パンフレット等を活用した各種制度の周知。 ②相談支援事業所をはじめ、関係機関との連携による必要な支援の実施。 ③成年後見にかかる支援の実施。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①手帳交付時等に制度を周知。 ②適宜支援を実施。 ③成年後見制度の申請（町長申立）、申請の援助等を実施(1人) 【今後の方針・対応策】 ①②③継続的に実施していく。
				25年度	↓			
				26年度	↓			
				27年度	↓			
				28年度	↓			
1-2-3 ①	支援ネットワークのしくみづくり(障がい福祉計画) 地域住民、NPO、ボランティア団体、事業所等地域福祉活動を担うさまざまな主体が、それぞれの機能を高め、役割を分担しながら、障がい者の地域生活支援を協働で実施していけるよう、情報交換や多様な事業の実施をとおしてネットワークのしくみづくりを進める。	福祉課 (福祉支援室長)	検討 ・町内事業者との連携	24年度	検討	①現在の制度等を鑑み、見守り支援ネットワーク機能と統合していくことを検討する（見守り支援ネットワークの機能強化）。	A	【進捗状況】 ①地域生活支援事業の各種サービスを実施するにあたり、事業者との連絡調整や情報共有を適宜実施している。 【今後の方針・対応策】 ①既存ネットワークとの役割を検証していく。
				25年度	実施			
				26年度	↓			
				27年度	↓			
				28年度	↓			

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んでいる	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んでいる	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
1-2-3 ③	見守り支援ネットワークの推進と地域単位での活動の支援(障がい福祉計画) 障がい者や高齢者が地域の中で社会から孤立することなく主体的な暮らしを送ることができるよう、見守り支援ネットワーク等の推進を図るため、民生委員・児童委員協議会、区長会等の関係団体による連携を推進するとともに、ボランティアや事業者を含めた地域単位での活動を支援する。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・虐待の早期発見のためのチェック機能を強化	24年度 検討 25年度 実施 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①ネットワーク構成機関に対する見守り活動事例や消費者被害問題の情報提供(年2~3回、メールやFAX等で実施)。 ②上水道以外のライフライン事業者との通報システムの検討。	①A ②C	【進捗状況】 ①福祉課障がい者福祉担当窓口内に障がい者虐待防止センター(H24年10月開設)を設置。宮代町要援護者見守り支援ネットワークの業務として当該センターを位置づけ連携を強化済み。 ②引き続き、先進事例等を研究していく。 【今後の方針・対応策】 ①障がい者虐待防止センターと宮代町見守り支援ネットワークとの更なる連携強化の実施。

2. サービス提供体制

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
2-1-3 ①	相談の一元化(障がい福祉計画) すべての障がい者に適切に対応できる総合的な相談支援体制を実施する。 相談支援事業者や保健・医療関係等さまざまな分野における関係機関・関係者と連携を図り、相談支援機能の充実・強化を進めていく。 また、地域自立支援協議会や広域市町との調整のもと基幹相談支援センターの設置を検討する。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・相談支援事業者等関係機関との連携強化 ・ケアマネジメントを活用した相談支援体制の充実 ・基幹相談支援センターの設置を検討(地域自立支援協議会との調整)	24年度 検討・実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①相談支援事業者と連携した支援会議(各部会)の実施(25回予定)。 ②相談支援の充実のための研修会等の実施及び参加。 ③地域自立支援協議会を中心とした相談支援体制の充実の検討。 ④サービス等利用計画の推進	①A ②A ③A ④A	【進捗状況】 ①各部会を実施。(27回) ②研修会を相談支援事業所と連携し実施。 グループスーパービジョン研修 虐待防止に関する研修会 計画相談に関する研修会 サービス管理者フォローアップ研修 相談支援専門員フォローアップ研修 障害者差別解消法研修 ③地域自立支援協議会において相談支援の充実を検討。 ④障害福祉サービス利用者全員に対して作成するため、調整及び作成実施。(81.4%済) 【今後の方針・対応策】 ①②③④継続的に実施していく。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
2-2-1 ②	地域自立支援協議会の実施(障がい福祉計画)	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・ライフステージに応じた継続的な支援体制の推進 ・相談支援拠点機関の充実	24年度	実施 ↓	①定例協議会の実施(2回予定)。 ②運営会議・調整会議の実施(毎月実施予定)。 ③各部会の実施(25回予定)。	①A ②A ③A 【進捗状況】 ①協議会を実施済み(8月・3月) ②運営会議(行政機関と相談支援事業所間)(毎月) ③生活支援部会・ケアマネジメント部会・地域移行・地域定着支援部会・就労支援部会の実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。
	25年度						
	26年度						
	27年度						
	28年度						
2-2-2 ①	地域福祉を支える人材の確保	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・関係機関等と連携し、人材の養成や職場の環境整備支援の実施	24年度	検討 ↓ 実施 ↓	①発達障がいへの対応をはじめ、地域の福祉に携わる活動を担う人材の育成支援。	A 【進捗状況】 ①発達障害コーディネーター養成講座に職員及び幼稚園・保育園の職員が参加。現在、発達支援マネージャー4名、発達支援サポーター16名。 【今後の方針・対応策】 ①研修への参加等、引き続き実施していく。
	25年度						
	26年度						
	27年度						
	28年度						

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

3. 福祉サービス

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
3-2-2 ①	施設入所・グループホーム等の整備誘導(障がい福祉計画) 施設入所、グループホーム、ケアホーム等の設置を地域内で促進するため、必要な支援策等の検討や地域生活への移行に必要なサポート体制づくりを進める。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・空家、空室等を利用した事業の検討 ・地域で多様な暮らし方のあり方を検討し、必要な支援の実施	24年度 検討・実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①整備誘導のため、関係機関等の調整。 ②家族会勉強会や必要な支援の実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①市街化調整区域にグループホーム等の設置ができるよう、県関係機関に調整依頼済み。 ②障がい者関係団体の依頼を受け、勉強会の実施（11月19日）。 【今後の方針・対応策】 ①民間等による具体的な計画があれば、適宜助言等の支援を行っていく。 ②継続して実施していく。
3-3-1 ①	障がい福祉サービスの確保(障がい福祉計画) 必要な障がい福祉サービスを提供するため、事業を行う意向を有する事業所の把握に努め、情報提供やその他必要な支援を行い、参入促進を図る。 また、必要なサービスにつなげていけるよう、適切なサービス提供体制整備を進める。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・相談支援事業者との連携強化・サービス提供事業所との広域利用の推進	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①需用見込等について、広域市町及び相談支援事業所と情報交換等を実施。 ②就労継続支援B型利用予定の学卒者等へのアセスメント手法についての検討の実施。 ③不足する短期入所の利用にかかる調整・実施内容の検討。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①4市2町及び相談支援事業所と、相談支援にかかる現状把握や特定相談支援の動向について適宜情報交換を実施済み。 ②アセスメント手法について、各関係機関と検討。 ③相談に応じ適宜実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。
3-3-1 ③	第三者評価制度(福祉オンブズパーソン)の検討 第三者の立場から、福祉に関する申し立てを聞き、行政等に対し是正勧告や提言を行う第三者評価制度を検討し、利用者の権利擁護、的確な制度の運営に努める。	福祉課 (福祉支援室長)	検討 ・福祉施設利用者への評価アンケートの実施	24年度 調査・検討 25年度 ↓ 26年度 実施 27年度 ↓ 28年度 ↓	①当該制度の必要性について再検証し、実施の有無を検討。	C	【進捗状況】 ①先進事例の情報収集を行い、宮代町版評価制度の必要性について検討の実施。 【今後の方針・対応策】 ①当該制度の実施の有無の検討の実施。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

4. 保健・医療サービス

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策	
4-1-2 ⑦	健康相談・栄養相談・訪問指導の実施 個々の状態に対応した健康相談・栄養相談・訪問指導を実施する。	健康介護課 (保健センター所長)	充実 ・障がいの特性に対応した健康相談、栄養相談・訪問指導の実施	24年度	実施 ↓	①健康相談の実施（毎週水曜日を予定） ②栄養相談の実施（毎週水曜日を予定） ③訪問指導の実施（健診フォロー等随時）	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①毎週水曜日42回実施。 ②毎週水曜日42回実施。 ③必要時に訪問指導の実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。
				25年度				
				26年度				
				27年度				
				28年度				
4-1-3 ①	精神保健相談の推進 保健所、相談支援事業者等の関係機関との連携の上、精神保健相談・受診前相談の充実を図り、精神保健相談を推進する。	健康介護課 (保健センター所長) 福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・関係機関と連携し、精神障がいに関する相談体制の強化	24年度	実施 ↓	①精神ケース検討会の開催（年6回） ②幸手保健所管内の精神福祉医療担当者会議への参加。	①A ②A	【進捗状況】 ①精神ケース検討会を2か月に1回開催(6回実施)。 ②幸手保健所と担当者会議1回参加。 【今後の方針・対応策】 ①②継続して実施していく。
				25年度				
				26年度				
				27年度				
				28年度				
4-1-5 ①	公設宮代福祉医療センター等の医療機関における円滑な障がい者(児)の診療実施 障がい者(児)の地域医療のニーズを把握するとともに、関係機関との連携を図り、障がい者が安心して適切な治療が受けられるよう、地域医療体制を充実する。	福祉課 (福祉支援室長) 健康介護課 (保健センター所長)	充実 ・障がい者(児)の受入体制の充実と適切な診療の実施	24年度	実施 ↓	①運営懇話会の開催（年2回） ②運営協議会の開催（年1回）	①A ②A	【進捗状況】 ①第1回運営懇話会の実施(5月28日) 第2回運営懇話会の実施(10月29日) ②運営協議会の実施(11月14日) 【今後の方針・対応策】 ①②継続して実施していく。
				25年度				
				26年度				
				27年度				
				28年度				

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
4-2-2 ⑤	<p>保健・医療・療育機関との連携</p> <p>乳幼児や就学期の子ども健康増進と障がいの発見、早期治療・早期療育のため、保健・医療・療育の関係機関の連携を強化し、定期的な情報交換や協議を行う等、総合的な支援体制を確立する。</p>	<p>健康介護課 (保健センター所長)</p> <p>教育推進課 (学校教育室長)</p> <p>福祉課 (福祉支援室長)</p> <p>福祉課 (子育て支援室長)</p> <p>福祉課 (保育室長)</p>	<p>充実</p> <p>・総合的な連携支援体制の確立</p>	<p>24年度 実施</p> <p>25年度 ↓</p> <p>26年度 ↓</p> <p>27年度 ↓</p> <p>28年度 ↓</p>	<p>①障がいの早期発見、早期療育のための乳幼児健診精密検査票の発行(随時)</p> <p>②発達に遅れのある子供(疑い含む)の幼児教室「かるがも教室」の開催(年12回)</p> <p>③臨床心理士による心理相談の実施(年43回)</p> <p>④言語聴覚士による言葉の相談実施(年40回)</p> <p>⑤就学支援委員会への参加(年3回)</p> <p>⑥障がいのある子の情報交換会の開催(9月25日)</p> <p>⑦発達の遅れ、障がいのある児童について、必要時に情報交換を行う。</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p> <p>⑥A</p> <p>⑦A</p>	<p>【進捗状況】</p> <p>①乳幼児健診実施中(各健診月1回 48回実施済み)、精密検査票発行(20件発行)。</p> <p>②かるがも教室実施(12回実施)。</p> <p>③臨床心理士による心理相談実施(43回実施済み)。</p> <p>④言語聴覚士によることばの相談実施(40回実施)。</p> <p>みやしろ保育園内において、言語聴覚士による言葉の相談を実施。</p> <p>⑤就学支援委員会実施(6月・11月・1月実施)。</p> <p>⑥障がいのある親の会開催(9月25日実施済み)。発達の遅れ、障がいのある児童について、必要時に情報交換を実施中。</p> <p>⑦発達の遅れ、障がいのある児童について、学校・保護者・関係機関との相談を実施中。(通年実施)</p> <p>【今後の方針・対応策】</p> <p>①②③④⑤⑥⑦継続して実施していく。</p>

5. 教育(保育)・生涯学習

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-1 ⑥	<p>一時保育と子育て支援センターの充実</p> <p>児童の保護者が、家族の看病や冠婚葬祭等のために一時的に保育ができない場合に対応できるよう、一時保育事業の充実を図る。また、子育てに関する悩みの相談に応じるとともに、親子で気軽に遊ぶ場を提供する子育て支援センターを充実する。</p>	<p>福祉課 (保育室長)</p> <p>福祉課 (子育て支援室長)</p> <p>福祉課 (福祉支援室長)</p>	<p>充実</p> <p>・民間施設等への支援の検討を含めた一時保育事業の充実</p>	<p>24年度 実施</p> <p>25年度 ↓</p> <p>26年度 ↓</p> <p>27年度 ↓</p> <p>28年度 ↓</p>	<p>①みやしろ保育園、姫宮保育園において、一時保育事業を実施していく。</p> <p>②みやしろ保育園、国納保育園、姫宮保育園において、子育て支援センター事業を実施していく。</p> <p>③民間保育所への財政支援を実施する。</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p>	<p>【進捗状況】</p> <p>①みやしろ保育園、姫宮保育園において、一時保育事業を実施。</p> <p>②子育て支援センター事業をみやしろ保育園、国納保育園、姫宮保育園において実施。</p> <p>③民間保育所に対して財政支援を実施。</p> <p>【今後の方針・対応策】</p> <p>①みやしろ保育園において実施の一時保育の受け入れ人数を10名から15名に拡大予定。</p> <p>②子育て支援センターきしゃぼぼ(みやしろ保育園内)を宮代町子育てひろばとして、庁舎内に整備する。</p>

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】

評価ランク	状況	達成状況	評価内容
A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-2 ③	就学支援委員会の運営(多様な教育機会の選択)	教育推進課 (学校教育室長)	充実 ・宮代特別支援学校、春日部特別支援学校の特別支援コーディネーターを委員に加え、就学相談や支援体制を充実	24年度	実施 ↓	①全小中学校で就学時の発達(知能)検査・健康診断及び就学相談を実施 ②保護者と就学先について「就学支援相談会」を実施(11月4日及び通年) ③特別支援学級在籍児童生徒及び通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に関して、「個別の支援計画」を作成 ④サポート手帳の活用、及び個別の支援計画作成についての研修会を実施(年1回)	①A ②A ③A ④A
	25年度						
	26年度						
	27年度						
	28年度						
5-1-3 ①	特別支援教育の推進	教育推進課 (学校教育室長)	充実 ・宮代特別支援学校と春日部特別支援学校が連携し、支援体制を強化	24年度	実施 ↓	①全小中学校に特別支援学級(知的7校・自閉症・情緒1校)を設置 ②全小中学校の特別な支援を要する児童に対する生活介助・学習活動をサポートする「特別支援教育サポーター」を配置する。 ③臨床心理士と特別支援学校コーディネーターを含むサポートチームによる学校訪問において個に応じた指導の在り方、保護者との面談を実施。	①A ②A ③A
	25年度						
	26年度						
	27年度						
	28年度						
5-1-3 ⑥	交流教育の推進	教育推進課 (学校教育室長)	充実 ・実施校の拡大	24年度	実施 ↓	①宮代特別支援学校と百間小学校・前原中学校で、交流事業を実施。 ②宮代特別支援学校及び春日部特別支援学校において支援籍学習の実施〔笠原小学校で2名 須賀中で1名〕	①A ②A
	25年度						
	26年度						
	27年度						
	28年度						

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-4 ②	発達障がい児等の教育支援体制の充実 発達障がい児等に対し、特別支援学校のコーディネーター等で構成されたサポートチームによる指導助言体制の充実や、各小中学校への発達障害者等特別支援教育指導者の配置等、教育支援体制を推進する。	教育推進課 (学校教育室長)	充実 ・個別指導計画に基づく教育的支援の実施	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①発達障がい児童・生徒へのサポートチームによる支援、及び担任教諭への指導助言の実施 ②各小学校の在籍する特別な支援の必要な児童に対しての生活介助、学習活動をサポートする「特別支援教育サポーター」の配置及び指導主事・教育相談員等の指導助言により、各教諭の指導力向上を図る。 ③特別支援教育に関する理解や指導についての研修会の実施（8月22日）。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①5月～7月にサポートチームの学校訪問を実施。通年でサポートを実施。 管理職・担任・特別支援教育コーディネータに対して、指導支援のあり方について指導助言を実施。（校長会・就学支援委員会・コーディネータ会議にて随時実施） ②全小学校に特別支援教育サポーターを配置済み。 サポートチームの学校訪問や支援担当訪問等、学校訪問の際に指導助言を実施。 ③宮代特別支援学校との共催で特別支援教育夏季研修会(日工大にて)を実施済み(8月22日)。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。

6. 生活基盤

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
6-1-2 ①	障がい者の雇用の場の創出【計画新規】(障がい福祉計画) 町と商工会、特別支援学校、ハローワーク、そして福祉関係機関等との連携を強化し、障害者就労継続支援A型事業所立上げのもと、障がい者の雇用の場を拡大していく。	福祉課 (福祉支援室長) 総務課 (庶務行政室長)	新規 ・雇用の場の拡大 ・就労継続支援A型事業所立上げに向けての支援(組織体制の強化・利用者の確保等)	24年度 検討 25年度 ↓ 26年度 実施 27年度 ↓ 28年度 ↓	①町職員(一般事務職)の採用試験を実施する場合、障がい者枠(3障害問わず)を別に設けて試験を実施する予定(9月中)。 ②就労継続支援A型事業所(2箇所)と連携し、雇用の場の確保及び安定的な運営に向けての連絡・調整の実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①障がい者(3障がいの種別問わず)枠として、職員を募集(一般事務職として採用予定。)し、9月21日に実施。1次試験(筆記)、2次試験(面接)の結果、11月10日に合否発表(採用者0人)。 ②必要に応じ、連絡・調整を実施。 【今後の方針・対応策】 ①来年度以降も法定雇用率等を注視しつつ、必要に応じて実施検討していく。②必要に応じ、随時、相談・調整等を実施していく。
6-2-2 ③	在宅重度心身障害者手当の支給 在宅の重度の障がい者に対し、在宅重度心身障害者手当を支給する。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・対象者拡大を検討	24年度 検討 25年度 ↓ 26年度 実施 27年度 ↓ 28年度 ↓	①埼玉県内市町の在宅重度心身障害者手当の動向把握及び情報収集の実施。 ②対象者拡大についての県への要望を実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①県内市町の動向について把握。 ②精神障害者福祉手帳2級所持者を県補助の対象となるよう要望を実施。 【今後の方針・対応策】 ①適宜実施していく。 ②県へ適宜要望していく。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成26年度最終評価）

資料 1

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策	
6-2-2 ④	在宅重度心身障害者医療費助成事業の充実 重度の心身障がい児者が負傷疾病等により医療給付を受けた場合、保険診療の自己負担分を助成する。	福祉課 (福祉支援室長)	充実 ・対象者拡大を検討 ・町内医療機関での窓口払い廃止の検討 ・関係機関との調整の実施	24年度	検討・実施 ↓	①埼玉県内の在宅重度心身障害者医療費の動向把握及び情報収集の実施。 ②対象者拡大についての県へ要望を実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①県による制度改正（H27.1）に伴い、県内市町の動向について把握。精神保健福祉手帳1級取得者への通院分を拡充実施。 ②精神障害者福祉手帳2級所持者に対する県補助枠を拡大するよう要望を実施。 【今後の方針・対応策】 ①適宜実施していく。 ②県へ適宜要望していく。
				25年度				
				26年度				
				27年度				
				28年度				

7. 生活環境

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (H26担当室長名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策	
7-1-3 ③	災害時要援護者支援体制の整備 障がい者等が災害時に適切かつ迅速に避難誘導され、必要な支援が受けられる体制を整備する。	健康介護課 (介護保険室長) 福祉課 (福祉支援室長) 町民生活課 (くらし安全室長)	充実 ・地域や関係機関との連絡を密にし、災害時要援護者避難支援マニュアルの周知 ・福祉避難所の整備 ・災害時要援護者台帳のシステム化	24年度	実施 ↓	①自主防災組織への災害時要援護者名簿の提供（延べ36地区）。 ②個別避難支援プラン作成の推進（延べ22地区）。 ③障がい者への制度のPR等の実施。 ④全体計画の策定	①C ②C ③A ④B	【進捗状況】 ①名簿提供（延べ31地区） ②避難支援プランの作成（延べ18地区） ③障害者手帳交付時等で制度説明を適宜実施。 ④関係部署職員により全体計画策定中。 【今後の方針・対応策】 ①②③④継続して実施していく。
				25年度				
				26年度				
				27年度				
				28年度				

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

1. 地域福祉の推進体制

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
1-1-2 ⑥	福祉教育の推進 町職員をはじめ、学校や企業、地域の関係者等、障がい者にかかわりのある機関・団体等の関係者を対象とした研修会を実施する。	総務課 (庶務職員担当) (人権推進室) 福祉課 (障がい者福祉担当) 健康介護課 (高齢者支援担当) 教育推進課 (学校教育担当)	充実 ・町職員や教職員等に対する研修会を実施	24年度 検討 25年度 実施 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①障がい者に対する理解を深めるために、職員を定期的に研修会へ派遣。 ②障がい者や障がいの理解促進を図るため、新採用職員に対し、研修を実施。 ③障がい者や障がいの理解促進のため福祉の店を実施。 ④特別支援教育に関する研修会の実施 ⑤特別支援学級担任・特別支援教育コーディネータ対象の研修会に実施（年3回）	①A ②A ③A ④A ⑤A	【進捗状況】 ①障がい者をはじめとするさまざまな人権問題に対する理解を深めるための研修会「埼葛人権を考えるつどい」を埼葛市町共同で実施予定（10月15日）。町職員他、教職員、民生委員等参加予定 ②障がい者に関する理解を深めるため、障がい者福祉研修、ガイドヘルプ研修を新採用職員研修（後期）に実施予定。 ③月曜日～金曜日に5団体の共同運営として実施。 ④日本工業大学において、宮代特別支援学校との共催で特別支援教育夏季研修会を実施済み（8月4日）。 ⑤特別支援教育主任・コーディネータ連絡協議会において研修を実施済み（6月・9月）。 【今後の方針・対応策】 ①②③④⑤継続して実施していく。
1-1-4 ③	権利擁護の推進 知的障がいや精神障がい等判断能力が十分ではない人に対する権利擁護にかかる相談、福祉サービスの利用援助、金銭管理サービス等を行う権利擁護事業（あんしんサポートネット事業）の利用を促進する。 また、権利擁護に関する町職員への意識啓発を充実し、これらに配慮した事業の推進を図る。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・相談、各制度等の利用促進	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①パンフレット等を活用した各種制度の周知。 ②相談支援事業所をはじめ、関係機関との連携による必要な支援の実施。 ③成年後見にかかる支援の実施。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①手帳交付時等に制度を周知。 ②適宜支援を実施中。 ③町長申立てに係る予算措置済み。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続的に実施していく。
1-2-3 ①	支援ネットワークのしくみづくり（障がい福祉計画） 地域住民、NPO、ボランティア団体、事業所等地域福祉活動を担うさまざまな主体が、それぞれの機能を高め、役割を分担しながら、障がい者の地域生活支援を協働で実施していけるよう、情報交換や多様な事業の実施をとおしてネットワークのしくみづくりを進める。	福祉課 (障がい者福祉担当)	検討 ・町内事業者との連携	24年度 検討 25年度 実施 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①既存の見守り支援ネットワークとの活用、機能強化の検討	①C	【進捗状況】 ①見守り支援ネットワーク会議の実施（1月予定）

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
1-2-3 ③	見守り支援ネットワークの推進と地域単位での活動の支援(障がい福祉計画) 障がい者や高齢者が地域の中で社会から孤立することなく主体的な暮らしを送ることができるよう、見守り支援ネットワーク等の推進を図るため、民生委員・児童委員協議会、区長会等の関係団体による連携を推進するとともに、ボランティアや事業者を含めた地域単位での活動を支援する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・虐待の早期発見のためのチェック機能を強化	24年度 検討 25年度 実施 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①ネットワーク構成機関に対する見守り活動事例や消費者被害問題の情報提供。 ②上水道以外のライフライン事業者との通報システムの検討。	①C ②C	【進捗状況】 ①見守り支援ネットワーク会議の実施（1月予定） ②引き続き、先進事例等を研究していく。 【今後の方針・対応策】 ①障がい者虐待防止センターと宮代町見守り支援ネットワークとの更なる連携強化の実施。

2. サービス提供体制

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
2-1-3 ①	相談の一元化(障がい福祉計画) すべての障がい者に適切に対応できる総合的な相談支援体制を実施する。 相談支援事業者や保健・医療関係等さまざまな分野における関係機関・関係者と連携を図り、相談支援機能の充実・強化を進めていく。 また、地域自立支援協議会や広域市町との調整のもと基幹相談支援センターの設置を検討する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・相談支援事業者等関係機関との連携強化 ・ケアマネジメントを活用した相談支援体制の充実 ・基幹相談支援センターの設置を検討(地域自立支援協議会との調整)	24年度 検討・実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①相談支援事業者と連携した支援会議(各部会)の実施(25回予定)。 ②相談支援の充実のための研修会等の実施及び参加。 ③地域自立支援協議会を中心とした相談支援体制の充実の検討。 ④サービス等利用計画の推進	①A ②A ③A ④A	【進捗状況】 ①各部会を実施中。 ②研修会を相談支援事業所と連携し実施。 グループスーパービジョン研修 虐待防止に関する研修会 計画相談に関する研修会 サービス管理者フォローアップ研修(1月予定) 相談支援専門員フォローアップ研修 障害者差別解消法研修 ③地域自立支援協議会において相談支援の充実を検討。 ④障害福祉サービス利用者全員に対して作成するため、調整及び作成実施。(93.5%済) 【今後の方針・対応策】 ①②③④継続的に実施していく。
2-2-1 ②	地域自立支援協議会の実施(障がい福祉計画) 相談支援事業をはじめとする地域の障がい者福祉に関するシステムづくりに関し、中核的な役割を果たす定期的な協議の場として地域自立支援協議会を開催する。 また、会議を通じて、地域の関係機関・団体等によるネットワークを構築するとともに、社会資源の活用や開発、障がい者の地域生活への移行に向けての支援システム等の協議を実施する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・ライフステージに応じた継続的な支援体制の推進 ・相談支援拠点機関の充実	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①定例協議会の実施(2回予定)。 ②運営会議・調整会議の実施(毎月実施予定)。 ③各部会の実施(25回予定)。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①協議会を実施済み(8月)。 ②運営会議(行政機関と相談支援事業所間)(毎月) ③生活支援部会・ケアマネジメント部会・地域移行・地域定着支援部会・就労支援部会の実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。

みやしろ健康福祉プラン - 障がい者基本計画・障がい福祉計画 - 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
2-2-2 ①	地域福祉を支える人材の確保 住民各層の経験や知識を活かす機会を提供し、地域福祉の担い手となる多様な人材の育成・確保を図る。 また、福祉サービスを担う人材の確保を図るため、関係機関と連携し、研修や職場環境の整備等にかかる支援を検討する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・関係機関等と連携し、人材の養成や職場の環境整備支援の実施	24年度 検討 25年度 実施 26年度 27年度 28年度	①発達障がいへの対応をはじめ、地域の福祉に携わる活動を担う人材の育成支援。	①A	【進捗状況】 ①発達障害コーディネーター養成講座に職員及び幼稚園・保育園の職員が参加。現在、発達支援マネージャー5名、発達支援サポーター15名。 【今後の方針・対応策】 ①研修への参加等、引き続き実施していく。

3. 福祉サービス

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
3-2-2 ①	施設入所・グループホーム等の整備誘導(障がい福祉計画) 施設入所、グループホーム等の設置を地域内で促進するため、必要な支援策等の検討や地域生活への移行に必要なサポート体制づくりを進める。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・空家、空室等を利用した事業の検討 ・地域で多様な暮らし方のあり方を検討し、必要な支援の実施	24年度 検討・実施 25年度 26年度 27年度 28年度	①整備誘導のため、関係機関等の調整。 ②家族会勉強会や必要な支援の実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①障がい者関係団体の会議に参加。 ②障がい者関係団体の会議に参加。 【今後の方針・対応策】 ①民間等による具体的な計画があれば、適宜助言等の支援を行っていく。 ②継続して実施していく。
3-3-1 ①	障がい福祉サービスの確保(障がい福祉計画) 必要な障がい福祉サービスを提供するため、事業を行う意向を有する事業所の把握に努め、情報提供やその他必要な支援を行い、参入促進を図る。 また、必要なサービスにつなげていけるよう、適切なサービス提供体制整備を進める。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・相談支援事業者との連携強化・サービス提供事業所との広域利用の推進	24年度 実施 25年度 26年度 27年度 28年度	①需用見込等について、広域市町及び相談支援事業所と情報交換等を実施。 ②就労継続支援B型利用予定の学卒者等へのアセスメント手法策定 ③不足する短期入所の利用にかかる調整・実施内容の検討。	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①4市2町及び相談支援事業所と、相談支援にかかる現状把握や特定相談支援の動向について適宜情報交換を実施済み。 ②アセスメント手法について、策定済み。 ③相談に応じ適宜実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
3-3-1 ③	第三者評価制度(福祉オンブズパーソン)の検討 第三者の立場から、福祉に関する申し立てを聞き、行政等に対し是正勧告や提言を行う第三者評価制度を検討し、利用者の権利擁護、的確な制度の運営に努める。	福祉課 (障がい者福祉担当)	検討 ・福祉施設利用者への評価アンケートの実施	24年度 調査・検討 25年度 ↓ 26年度 実施 27年度 ↓ 28年度 ↓	①当該制度の必要性について再検証し、実施の有無を検討。	C	【進捗状況】 ①先進事例の情報収集を行い、宮代町版評価制度の必要性について検討の実施。 【今後の方針・対応策】 ①当該制度の実施の有無の検討の実施。

4. 保健・医療サービス

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
4-1-2 ⑦	健康相談・栄養相談・訪問指導の実施 個々の状態に対応した健康相談・栄養相談・訪問指導を実施する。	健康介護課 (健康増進担当)	充実 ・障がいの特性に対応した健康相談、栄養相談・訪問指導の実施	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①健康相談の実施（毎週水曜日を予定） ②栄養相談の実施（毎週水曜日を予定） ③訪問指導の実施（健診フォロー等随時）	①A ②A ③A	【進捗状況】 ①毎週水曜日21回実施。 ②毎週水曜日21回実施。 ③必要時に訪問指導の実施。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。
4-1-3 ①	精神保健相談の推進 保健所、相談支援事業者等の関係機関との連携の上、精神保健相談・受診前相談の充実を図り、精神保健相談を推進する。	健康介護課 (健康増進担当) 福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・関係機関と連携し、精神障がいに関する相談体制の強化	24年度 実施 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度 ↓	①精神ケース検討会の開催（2か月に1回） ②困難ケースは幸手保健所と連携する。	①A ②A	【進捗状況】 ①精神ケース検討会を2か月に1回開催(3回実施済)。 ②幸手保健所と連携(3ケース) 【今後の方針・対応策】 ①②継続して実施していく。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
4-1-5 ①	<p>公設宮代福祉医療センター等の医療機関における円滑な障がい者(児)の診療実施</p> <p>障がい者(児)の地域医療のニーズを把握するとともに、関係機関との連携を図り、障がい者が安心して適切な治療が受けられるよう、地域医療体制を充実する。</p>	<p>福祉課 (障がい者福祉担当)</p> <p>健康介護課 (健康増進担当)</p>	<p>充実</p> <p>・障がい者(児)の受入体制の充実と適切な診療の実施</p>	<p>24年度 実施</p> <p>25年度 ↓</p> <p>26年度 ↓</p> <p>27年度 ↓</p> <p>28年度 ↓</p>	<p>①運営懇話会の開催(年2回)</p> <p>②運営協議会の開催(年1回)</p>	<p>①A</p> <p>②A</p>	<p>【進捗状況】</p> <p>①第1回運営懇話会の実施(5月29日)</p> <p>第2回運営懇話会の実施予定(10月29日)</p> <p>②運営協議会の開催予定(11月10日)</p> <p>【今後方針・対応策】</p> <p>①②継続して実施していく。</p>
4-2-2 ⑤	<p>保健・医療・療育機関との連携</p> <p>乳幼児や就学期の子どもの健康増進と障がいの発見、早期治療・早期療育のため、保健・医療・療育の関係機関の連携を強化し、定期的な情報交換や協議を行う等、総合的な支援体制を確立する。</p>	<p>健康介護課 (健康増進担当)</p> <p>教育推進課 (学校教育担当)</p> <p>福祉課 (障がい者福祉担当) (子育て推進担当) (保育担当)</p>	<p>充実</p> <p>・総合的な連携支援体制の確立</p>	<p>24年度 実施</p> <p>25年度 ↓</p> <p>26年度 ↓</p> <p>27年度 ↓</p> <p>28年度 ↓</p>	<p>①障がいの早期発見、早期療育のための乳幼児健診精密検査票の発行(随時)</p> <p>②発達に遅れのある子供(疑い含む)の幼児教室「かるがも教室」の開催(年12回)</p> <p>③臨床心理士による心理相談の実施(年43回)</p> <p>④言語聴覚士による言葉の相談実施(年40回)</p> <p>⑤就学支援委員会への参加(年3回)</p> <p>⑥障がいのある子の情報交換会の開催</p> <p>⑦発達の遅れ、障がいのある児童について、必要時に情報交換を行う。</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p> <p>⑥A</p> <p>⑦A</p>	<p>【進捗状況】</p> <p>①乳幼児健診実施中(各健診月1回 24回実施み)、精密検査票発行(12件発行)。</p> <p>②かるがも教室実施中(6回実施)。</p> <p>③臨床心理士による心理相談実施中(21回実施み)。</p> <p>④言語聴覚士によることばの相談実施中(20回施)。</p> <p>⑤就学支援委員会実施中。</p> <p>⑥障がいのある親の会開催(9月17日)。必要時に情報交換の実施。</p> <p>⑦発達の遅れ、障がいのある児童について、学校・保護者・関係機関との相談を実施中。</p>

5. 教育(保育)・生涯学習

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-1 ⑥	<p>一時保育と子育て支援センターの充実</p> <p>児童の保護者が、家族の看病や冠婚葬祭等のために一時的に保育ができない場合に対応できるよう、一時保育事業の充実を図る。また、子育てに関する悩みの相談に応じるとともに、親子で気軽に遊ぶ場を提供する子育て支援センターを充実する。</p>	<p>福祉課 (保育担当) (子育て推進担当) (保育担当)</p>	<p>充実</p> <p>・民間施設等への支援の検討を含めた一時保育事業の充実</p>	<p>24年度 実施</p> <p>25年度 ↓</p> <p>26年度 ↓</p> <p>27年度 ↓</p> <p>28年度 ↓</p>	<p>①みやしろ保育園、姫宮保育園において、一時保育事業を実施。</p> <p>②国納保育園、姫宮保育園において、子育て支援センター事業を実施。みやしろ保育園の子育て支援センターは、平成27年6月にオープンした子育てひろばに移転し、事業展開を図っている。</p> <p>③民間保育所への財政支援の実施。</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p>	<p>【進捗状況】</p> <p>①みやしろ保育園、姫宮保育園において、一時保育事業を実施中。なお、平成27年4月からみやしろ保育園においては、一時保育利用者定員を10名から15名に拡大した。</p> <p>②子育て支援センター事業を国納保育園、姫宮保育園及び子育てひろばで実施中。</p> <p>③民間保育所に対して財政支援を行うため、国、県への補助金の申請を行っている。</p> <p>【今後の方針・対応策】</p> <p>①②継続して実施</p> <p>③年度末に民間保育所へ助成予定。</p>

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】

評価ランク	状況	達成状況	評価内容
A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-2 ③	<p>就学支援委員会の運営(多様な教育機会の選択)</p> <p>就学予定者も含めLDやADHD等、教育上特別な支援を必要とする児童生徒の最適な教育的支援のあり方について、保護者等が判断できるよう、教育・医療・福祉等専門的分野からの助言を行う。 また、障がい児一人ひとりへの支援を具体化する「個別支援計画」の作成に関する助言指導等を行う。</p>	教育推進課 (学校教育担当)	充実 ・宮代特別支援学校、春日部特別支援学校の特別支援コーディネーターを委員に加え、就学相談や支援体制を充実	24年度 実施 25年度 26年度 27年度 28年度	<p>①全小学校で就学時の発達(知能)検査・健康診断及び就学相談を実施</p> <p>②保護者と就学先について「就学支援相談会」を実施(11月4日及び通年)</p> <p>③特別支援学級在籍児童生徒及び通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に関して、「個別の支援計画」を作成</p> <p>④サポート手帳の活用、及び個別の支援計画作成についての研修会を実施(年1回)</p>	①A ②A ③A ④A	<p>【進捗状況】</p> <p>①10月上旬に全ての小学校において就学時健康診断を実施予定。</p> <p>②就学相談を実施(通年)。保健センターにおいての相談会に参加。(9月17日)</p> <p>③すべての学校において個別の支援計画作成済み。</p> <p>④校長会・就学支援委員会等においてサポート手帳作成について研修を実施済み。</p> <p>【今後の方針・対応策】</p> <p>①就学時健康診断の情報を参考に一人一人に応じた就学相談を実施する(通年)。</p> <p>②継続して実施していく。</p> <p>③通常の学級に在籍する特別に支援を要する児童・生徒に関しても個別の支援計画を作成する。</p> <p>④サポート手帳活用と個別の支援計画作成の資料配布し研修を継続する。</p>
5-1-3 ①	<p>特別支援教育の推進</p> <p>障がい児の一人ひとりの教育的ニーズに応じて、そのもてる力を高めることができるよう、町内の小中学校の「特別支援学級」の適正な配置を進める。 また、特別支援学級や普通学級に在籍する障がい児童に対し、一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、特別支援学校との連携を図りながら適切な指導・支援を行う。</p>	教育推進課 (学校教育担当)	充実 ・宮代特別支援学校と春日部特別支援学校が連携し、支援体制を強化	24年度 実施 25年度 26年度 27年度 28年度	<p>①全小中学校に特別支援学級(知的7校・自閉症・情緒2校)を設置</p> <p>②全小学校の特別な支援を要する児童に対する生活介助・学習活動をサポートする「特別支援教育サポーター」を配置する。</p> <p>③臨床心理士と特別支援学校コーディネーターを含むサポートチームによる学校訪問において個に応じた指導の在り方、保護者との面談を実施。</p> <p>④通級指導教室(ことばの教室)を開設し平成28年度より指導を開始する。</p>	①A ②A ③A ④A	<p>【進捗状況】</p> <p>①町内全小中学校に設置済み。</p> <p>②町内全小学校に配置済み。</p> <p>③5月～7月にサポートチーム学校訪問を実施。教師に対しての助言と保護者との面談を実施済み。</p> <p>④開設予定校を百間小学校(教材教具の購入)、指導教員の育成中</p> <p>【今後の方針・対応策】</p> <p>①②特別支援学級の教育活動が充実するように研修会等の支援を行う。(授業研究会実施)</p> <p>③各小中学校の要請に応じて、サポートチーム学校訪問を継続する。(ウイスクの検査・カンファレンス・サポートチーム訪問の年間を通しての実施)</p> <p>④ことばの教室開設に向けて、教室の改装、指導員の研修を進める。</p>

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
5-1-3 ⑥	交流教育の推進 障がいのあるなしにかかわらず互いを認めあい、理解を深め、支えあえるよう、特別支援学校と町内の小中学校において行事や交流事業を実施する。	教育推進課 (学校教育担当)	充実 ・実施校の拡大	24年度 実施 25年度 26年度 27年度 28年度	①宮代特別支援学校と百間小学校・前原中学校で、交流事業を実施。 ②宮代特別支援学校及び春日部特別支援学校において支援籍学習の実施〔百間小学校で1名 笠原小学校で3名〕	①A ②A	【進捗状況】 ①宮代特別支援学校との交流会実施済み。 百間小 5年(6月12日)(12月10日) 前原中 1年(6月9日) ②支援籍実施済み(3名) 百間小学校で1名(5年) 笠原小学校で3名(3年・6年) 【今後の方針・対応策】 ①②交流事業・支援籍の充実について指導助言、宮代・春日部特別支援学校との調整・支援籍名簿の作成し、継続して実施していく。
5-1-4 ②	発達障がい児等の教育支援体制の充実 発達障がい児等に対し、特別支援学校のコーディネーター等で構成されたサポートチームによる指導助言体制の充実や、各小中学校への発達障害者等特別支援教育指導者の配置等、教育支援体制を推進する。	教育推進課 (学校教育担当)	充実 ・個別指導計画に基づく教育的支援の実施	24年度 実施 25年度 26年度 27年度 28年度	①発達障がい児童・生徒へのサポートチームによる支援、及び担任教諭への指導助言の実施 ②各小学校のに在籍する特別な支援の必要な児童に対する生活介助、学習活動をサポートする「特別支援教育サポーター」の配置及び指導主事・教育相談員等の指導助言により、各教諭の指導力向上を図る。 ③特別支援教育に関する理解や指導についての研修会の実施(8月4日)。	①A ②A ③A ④A	【進捗状況】 ①5月～7月にサポートチームの学校訪問を実施。通年でサポートを継続中。 管理職・担任・特別支援教育コーディネーターに対して、指導支援のあり方について指導助言を実施。(校長会・就学支援委員会・コーディネータ会議にて随時実施) ②全小学校に特別支援教育サポーターを配置済み。 サポートチームの学校訪問や支援担当訪問等、学校訪問の際に指導助言を実施。 ③宮代特別支援学校との共催で特別支援教育夏季研修会(日工大にて)を実施済み(8月4日)。 【今後の方針・対応策】 ①②③継続して実施していく。

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

6. 生活基盤

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
6-1-2 ①	障がい者の雇用の場の創出【計画新規】(障がい福祉計画) 町と商工会、特別支援学校、ハローワーク、そして福祉関係機関等との連携を強化し、障害者就労継続支援A型事業所立上げのもと、障がい者の雇用の場を拡大していく。	福祉課 (障がい者福祉担当) 総務課 (庶務職員担当)	新規 ・雇用の場の拡大 ・就労継続支援A型事業所立上げに向けての支援(組織体制の強化・利用者の確保等)	24年度 検討 ↓ 25年度 ↓ 26年度 実施 ↓ 27年度 ↓ 28年度	①町職員(一般事務職)の採用試験を実施する場合、障がい者枠(3障害問わず)を別に設けて試験を実施する予定(9月中)。	①A	【進捗状況】 ①障がい者(3障がいの種別問わず)枠として、職員を募集(一般事務職として採用予定。)し、9月20日に一次試験(筆記)を実施。1次試験(筆記)の結果を経て、11月に2次試験(面接)を実施する予定。 【今後の方針・対応策】 ・来年度以降も法定雇用率等を注視しつつ、必要に応じて実施検討していく。
6-2-2 ③	在宅重度心身障害者手当の支給 在宅の重度の障がい者に対し、在宅重度心身障害者手当を支給する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・対象者拡大を検討	24年度 検討 ↓ 25年度 ↓ 26年度 実施 ↓ 27年度 ↓ 28年度	①埼玉県内市町の在宅重度心身障害者手当の動向把握及び情報収集の実施。 ②対象者拡大についての県への要望を実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①県内市町の動向について把握。 ②精神障害者福祉手帳2級所持者を県補助の対象となるよう要望を実施。 【今後の方針・対応策】 ①適宜実施していく。 ②県へ適宜要望していく。
6-2-2 ④	在宅重度心身障害者医療費助成事業の充実 重度の心身障がい児者が負傷疾病等により医療給付を受けた場合、保険診療の自己負担分を助成する。	福祉課 (障がい者福祉担当)	充実 ・対象者拡大を検討 ・町内医療機関での窓口払い廃止の検討 ・関係機関との調整の実施	24年度 検討・実施 ↓ 25年度 ↓ 26年度 ↓ 27年度 ↓ 28年度	①埼玉県内の在宅重度心身障害者医療費の動向把握及び情報収集の実施。 ②対象者拡大についての県へ要望を実施。	①A ②A	【進捗状況】 ①県内市町の動向について把握。 ②精神障害者福祉手帳2級所持者に対する県補助枠を拡大するよう要望を実施。 【今後の方針・対応策】 ①適宜実施していく。 ②県へ適宜要望していく。

みやしろ健康福祉プラン ー障がい者基本計画・障がい福祉計画ー 重点事業進行管理評価表（平成27年度中間評価）

資料 2

【評価】	評価ランク	状況	達成状況	評価内容
	A	計画通りに順調に取り組んできている	80%以上	内容と期限がほぼ期待通りできている場合
	B	概ね計画通りに取り組んできている	60%以上80%未満	期待を下回る質の不良な内容か、もしくは、期限よりも10%以上遅れている場合
	C	進捗に遅れがあるなど、順調ではない	60%未満	期待を下回る質の不良な内容で、かつ、期限よりも10%以上遅れている場合
	D	取り組んでいない	0%	-

7. 生活環境

施策番号	事業方策等・事業概要	担当課 (担当名)	方針区分	取組時期	達成基準(何を・どれだけ・どの程度・いつまでに)	評価	進捗状況(C・Dの場合はその理由)及び今後の方針・対応策
7-1-3 ③	災害時要援護者支援体制の整備 障がい者等が災害時に適切かつ迅速に避難誘導され、必要な支援が受けられる体制を整備する。	健康介護課 (高齢者支援担当) 福祉課 (障がい者福祉担当) 町民生活課 (生活安全担当)	充実	24年度	実施 ↓	①自主防災組織への災害時要援護者名簿の提供(51地区)。 ②個別避難支援プラン作成の推進(51地区)。 ③法改正による全体計画の素案策定 ④障がい者への制度のPR等の実施。	①B ②C ③D ④A
			・地域や関係機関との連絡を密にし、災害時要援護者避難支援マニュアルの周知	25年度			
			・福祉避難所の整備	26年度			
			・災害時要援護者台帳のシステ	27年度			
				28年度			